

鈴木優人 & バッハ・コレギウム・ジャパン

「バッハ・チェンバロ協奏曲演奏会」



2019.7.21

—SUNDAY— 16:00開演[15:30開場]

サラマンカホール

岐阜市藪田南5-14-53

J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲

第3番 ニ長調 BWV 1054 第4番 イ長調 BWV 1055
第6番 へ長調 BWV 1057 第7番 ト短調 BWV 1058 ほか

指揮・チェンバロ・オルガン／鈴木優人

ヴァイオリン／若松夏美

リコーダー／アンドレアス・ペーレン

器楽／バッハ・コレギウム・ジャパン

全席指定 [S] 4,000円 [A] 2,000円

[サラマンカメイト：[S] 3,600円 [A] 1,800円]

学生半額(30歳まで) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

※A席・学生券・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

サラマンカメイト
先行発売

2019
3.8金

一般
発売

2019
3.15金

*窓口 9:00～
電話 10:00～
インターネット 翌日0:00～

主催：サラマンカホール

新・首席指揮者とバッハ演奏のスペシャリストが奏でる

2018年9月、バッハ・コレギウム・ジャパンの首席指揮者に就任した鈴木優人。
その直前にはバッハ：チェンバロ協奏曲全曲録音プロジェクトを立ち上げ、勢いに乗る彼と、
バッハを知り尽くした精鋭たちの演奏でお届けします。長年の研究に裏付けられた解釈と、
新しい息吹にご期待ください。

鈴木 優人 [指揮・チェンバロ・オルガン] Masato SUZUKI

バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者。アンサンブル・ジェネシス音楽監督。1981年オランダ生まれ。東京藝術大学作曲科及び同大学院古楽科修了。ハーグ王立音楽院修士課程オルガン科を首席で、同音楽院即興演奏科を栄誉賞付きで日本人として初めて修了。アムステルダム音楽院チェンバロ科にも学ぶ。第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。2018年9月よりバッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者に就任。音楽監督を務めるアンサンブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開する。指揮者としてこれまでにバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)、アンサンブル金沢、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、横浜シフォニエッタ、読売日本交響楽団等と共演。今年11月にはNHK交響楽団にも初登場予定。2015年のラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンではBCJの「マタイ受難曲」を指揮して好評を博した。鍵盤奏者(チェンバロ、オルガン、ピアノ)としても国内外の公演に多数出演。アーティストック・ディレクターを務めた2015年11月の東京芸術劇場開館25周年記念公演では、BCJの合唱や芸術ウィンド・オーケストラとの共演など多彩なプログラムを披露、中でも東京交響楽団を指揮したメシアン「トゥーランガリラ交響曲」は圧巻な演奏で、この記念すべき公演に華を添えた。2017年11月には、モンテヴェルディ生誕450周年を記念し、歌劇「ポッペアの戴冠」を国際的で魅力に富む歌手陣で上演。高い芸術性と優れたキャスティングを生かした躍動感を伴った上演はバロック・オペラの新機軸として高い評価を得た。2018年2月のBCJ定期演奏会では指揮者として初登場し、J.S.バッハ：ヨハネ受難曲を上演。作曲家としても数々の委嘱を受けると同時に、J.S.バッハ BWV 190喪失楽章の復元や(Carus)、モーツァルト「レクイエム」の補筆・校訂が(Schott Music)、高い評価を得ている。NHKFMの「古楽の楽しみ」に解説者としてレギュラー出演。チェンバロ・ソロのCD「rencontre」は各紙で絶賛されている。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各方面から大きな期待が寄せられている。

©Marco Borggreve



バッハ・コレギウム・ジャパン Bach Collegium Japan (BCJ)

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラ。J. S. バッハの宗教曲を中心に、近年はメンデルスゾーンに及ぶ作品の理想的な上演・普及を主旨として活動。透明かつ劇的な合唱とオリジナル楽器による演奏は「アンサンブル全体が協和しながら光を放つような響きの美しさ(朝日新聞)」と高く評価されている。1992年より東京・神戸での定期演奏会を開始、1999年から海外公演も本格化し、ライプツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール、コンセルトヘボウ等での演奏を通じて、その評価を高めている。2013年3月には、合唱団が鈴木雅明指揮ニューヨーク・フィル定期に出演。2014年3月ニュージーランドおよびスペイン・フランス公演、秋にはメキシコ公演を実施。2015年5月ブラハの春国際音楽祭等に出演、10月～11月器楽アンサンブルによるアメリカ公演を実施。2016年4月、ロンドン、ウィーンを含むヨーロッパツアーを実施、各地で絶賛を博した。スウェーデンBISより90点以上に及ぶCDをリリースし、多くの賞を受賞。2010-11年には『バッハ：モテット全集』が欧州3カ国のベスト・ディスク賞を獲得。2012年には震災チャリティCD

「Bach for Japan」をリリース。1995年から時系列順で取り組んできた「バッハ：教会カンタータシリーズ」が2013年2月、全曲演奏・録音(全55巻)を完遂、大きな反響を呼んでいる。この教会カンタータ全曲録音完遂について、BISレコーズが2014年エコー・クラシック賞エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤー部門を受賞。

同時開催

◆音楽講座《古楽のひみつ》リハーサル室○定員60名/入場無料 ※要申し込み

- 【1限目】12:00-13:00「間近で見るオリジナル楽器」 講師/鈴木優人(バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者)
【2限目】13:15-15:00「名盤で聴く古楽の歴史」 講師/浦久俊彦(サラマンカホール音楽監督)

お申し込み先
サラマンカホール
チケットセンター
TEL.058-277-1110

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートの案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110)でもお受けしております。
入会申込書をご郵送いたします。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふくるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



客席のご案内

